



**障害者支援
（岩沼市障害者計画）**

長田 忠広



問 主要歩道でも点字ブロックが改修されていない箇所がある。改修の現状と今後の計画を伺う。

土木課長 点字ブロック改修は、これまで歩行者の通行が多い二木大通線の主要区間を進めており、今年度から、これに加えて駅前大通線の主要区間の改修を進めています。令和8年度までの完了を目指しています。

問 駅前大通線で設置されていない場所（館下橋から東の信号機まで）がある。そこで、設置されていない箇所は早めに対応することが非常に重要と思うがどうか伺う。

建設部長 その部分はまだ点字ブロックが整備されていません。設置スペースがあると思いますので現場を確認し、設置を検討します。

福祉避難所の態勢整備を

問 障害者の防災対策で福祉避難所の開設では受け入れ態勢が重要である。そこで、（仮称）福祉避難所支援員の育成・登録制度を設けてはどうか伺う。

総務部長 コロナ終息後の受け入

れ態勢も含めた福祉避難所の在り方を、協定先と意見交換していく中で、支援員の必要性も含めて研究していきたいと考えます。

問 令和3年第1回定例会で「福祉避難所に備品配置を」と提言した。そこで、福祉避難所への備品配置の進捗状況を伺う。

防災課長 コロナ終息後の福祉避難所の在り方について、協定先と意見交換をしていく中で、備品の配備も、しっかりと確認したいと考えます。

問 障害者を支える相談支援体制の充実には、重層的支援体制が必要である。そのためには、地域包括支援センターとの連携が必要となるが、どのように取り組んでいくか伺う。

社会福祉課長 圏域ごとの地域包括支援センターと相談支援事業所の情報共有会議や事例検討会等を既に実施しています。今後も相互の理解促進に向けた研修会の一層の充実を図るなど、連携強化に取り組みたいと考えます。



**双方向のオンライン
授業の現状**

菊地 忍



問 コロナ禍だけではなく災害の発生などにより、いつ登校ができなくなるか分からない昨今、非常事態に備えて「子どもたちの学びを止めない」対策の一つとして双方向のオンライン授業が挙げられるが、市内小中学校のオンライン授業に向けた取り組みはどの程度進んでいるのか伺う。

学校教育課長 小中学校においてライブ配信の授業で、新しい事を学ぶという事は難しいのではないかと捉えています。「朝の会」と「帰りの会」で一度つないで子どもたちの健康状態を観察し、その後、オンラインで自習を行っています。

実施して見えてくる課題

問 県内の他市町では、感染拡大等に備えて、出席名簿の奇数と偶数に分けて、午前と午後と入れ替えて給食時に全員がそろうというやり方でオンライン授業の練習を行っている学校もあると聞く。万が一に備えてこのような取り組みを行っている学校もある中で、岩沼市では「オンライン帰りの会」

というのをやった学校もあるようだ。「帰りの会」だけではなく、実際の授業をオンライン形式で実施してみている課題もあると思うが、どう考えるか。

学校教育課長 帰りの会の時間で実際に配信を行っている学校もありますので、「ご安心してください」。

問 児童生徒の各家庭のインターネット環境の整備状況を伺う。

学校教育課長 学校からは、「未整備の世帯はない」という報告を受けています。

- ◎その他の一般質問
- ・選挙の総評と選挙事務等
- ・デジタル化の推進状況

